

2017年8月14日

各位

## 2017年度第1四半期報告



オリックス生命保険株式会社

オリックス生命保険株式会社(本社:東京都港区、社長:片岡 一則、以下「オリックス生命」)の2017年度第1四半期決算(2017年4月1日～2017年6月30日)を以下のとおりお知らせします。

### 1. 契約の状況

#### ◆新契約(個人保険)の状況 (単位:億円、千件)

	2015年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期
新契約高	4,792	4,715	5,683
新契約年換算保険料	84	100	131
新契約件数	141	151	187

新契約高は、「終身保険ライズ」や「定期保険ファインセーブ」の販売が伸展したことから、前年同期比120.5%の5,683億円となりました。

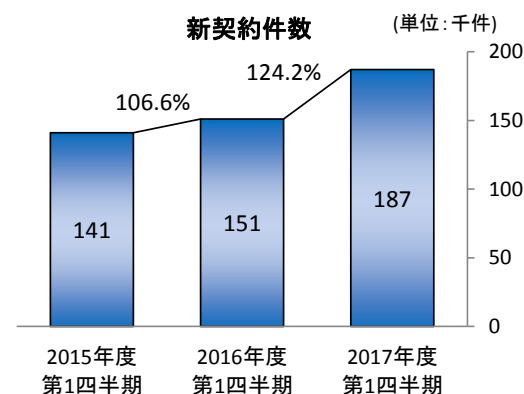
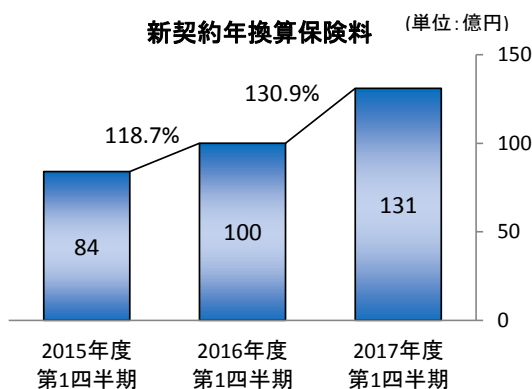
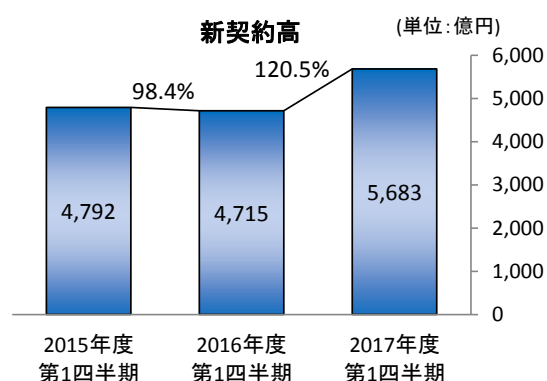
新契約年換算保険料は、上記に加え「終身保険 新ライズ・サポート」などの販売も好調だったことから、前年同期比130.9%の131億円に、新契約件数は前年同期比124.2%の18万7千件とそれぞれ伸展しました。

#### ◆保有契約(個人保険)の状況 (単位:億円、千件)

	2015年度末	2016年度末	2017年度 第1四半期末
保有契約高	87,723	104,182	107,932
保有契約年換算保険料	1,818	2,158	2,250
保有契約件数	2,947	3,487	3,627

保有契約高は、終身保険、定期保険などの第一分野商品の保有が増加したことから、前年度末比103.6%の10兆7,932億円となりました。

保有契約年換算保険料は、終身保険や医療保険などの増加により前年度末比104.3%の2,250億円に、保有契約件数は、前年度末比104.0%の362万7千件と伸展しました。



## 2. 収支・資産等の状況

### ◆収支・利益・資産

(単位:億円)

	2015年度 第1四半期		2016年度 第1四半期		2017年度 第1四半期		2016年度
		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
保険料等収入	461	116.7%	567	123.1%	777	137.1%	2,673
資産運用収益	48	137.5%	73	153.2%	286	389.0%	711
保険金等支払金	172	105.4%	635	367.5%	791	124.6%	3,021
資産運用費用	8	68.3%	296	3,439.9%	13	4.4%	94
基礎利益	△ 48	-	△ 32	-	△ 94	-	△ 202
当期純利益	△ 28	-	△ 43	-	△ 72	-	△ 188
総資産	7,813	114.8%	19,274	246.7%	18,877	97.9%	18,996

- ・保険料等収入は、終身保険や医療保険の保有契約が増加したことなどから、前年同期比137.1%の777億円となりました。
- ・資産運用収益は、運用環境の改善により特別勘定資産運用益が増えたことなどから前年同期比389.0%の286億円となりました。
- ・保険金等支払金は、年金や解約返戻金の支払いが増加したことなどから、前年同期比124.6%の791億円となりました。
- ・資産運用費用は、特別勘定資産運用損が無くなったことなどから、前年同期比4.4%の13億円となりました。
- ・基礎利益は、新契約が好調なことにより新契約獲得経費や標準責任準備金の積立負担が増加したため、前年同期と比べて61億円赤字幅が拡大し、△94億円となりました。
- ・当期純利益は、前年同期比29億円減の△72億円となりました。
- ・総資産は、前年度末比118億円減の1兆8,877億円となりました。

### ◆米国会計基準(SEC基準)による主要な経営指標

オリックスグループは、米国会計基準(SEC基準)を採用しているため、当社においても、会社法基準のほかにSEC基準を採用し、経営管理の指標としています。

(単位:億円)

	2015年度 第1四半期		2016年度 第1四半期		2017年度 第1四半期		2016年度
		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
営業収益	502	119.4%	629	125.1%	786	125.1%	2,832
生命保険料等収入	449	117.1%	556	123.7%	717	129.0%	2,486
資産運用収益	53	143.0%	73	137.4%	70	95.6%	346
営業費用	395	116.4%	521	131.8%	652	125.2%	2,321
生命保険費用	322	115.7%	406	126.3%	533	131.2%	1,785
資産運用費用	8	61.1%	20	270.0%	14	68.7%	96
その他費用	66	134.4%	94	142.9%	104	111.3%	440
税引前当期純利益	107	131.8%	108	100.6%	135	124.6%	512
法人税等	33	130.4%	33	99.1%	39	120.8%	151
当期純利益	74	132.4%	75	101.3%	95	126.3%	361
総資産	8,900	115.5%	21,078	236.8%	20,457	97.1%	20,598
保険契約債務	5,052	109.5%	16,346	323.5%	15,525	95.0%	15,642
株主資本 (払込資本金)	2,855 (590)	125.9%	3,541 (590)	124.0%	3,639 (590)	102.8%	3,544 (590)

- ・生命保険料等収入は、終身保険や医療保険などの保有契約が増え、保険料収入が増加したことなどから、前年同期比129.0%の717億円となりました。
- ・生命保険費用は、保険金等支払金が増えたことなどから、前年同期比131.2%の533億円となりました。
- ・資産運用収益は、前年同期とほぼ横ばいの70億円となりました。
- ・税引前当期純利益は前年同期比124.6%の135億円、当期純利益は同126.3%の95億円となりました。
- ・総資産は、前年度末比141億円減の2兆457億円となりました。

(SEC基準決算と会社法基準決算の主な違いについては次のページをご参照ください。)

## <SEC基準決算と会社法基準決算の主な違いについて>

### 1. 新契約の獲得経費

- ・SEC基準では、新契約の獲得経費は、新契約からもたらされる将来の収入に対応すべき部分を、当期に一括計上せず、繰延処理します。
- ・会社法基準では、新契約の獲得経費を当期費用として一括計上します。
- ・新契約の販売が好調な時、SEC基準では、新契約の増加に比例する形で利益が増加し、会社法基準では、当期の利益が減少します。

### 2. 責任準備金

- ・SEC基準では、実績発生率を基に計算される責任準備金を積み立てます。
- ・会社法基準では、無配当商品に対しても有配当商品と同じ積み立てを行うなど、一般的に、SEC基準と比べて契約初期の積立負担が大きな標準責任準備金を積み立てます。

### 3. 再保険取引

- ・当社は変額個人年金および変額終身保険にかかる最低保証リスクに関しては出再することにより、リスク軽減を図っております。
- ・上記再保険に付した最低保証リスクに係る責任準備金について、SEC基準では積み立てておりますが、会社法基準では保険業法に基づき積み立てておりません。  
そのため、解約もしくは満期等により最低保証に係るリスクが減少する場合、SEC基準では責任準備金取崩し益が生じますが、会社法基準では当該益は発生しません。

当社においては、上記により、会社法基準は一時的に利益が減少する傾向があります。

## 3. 健全性等の状況

### ◆ソルベンシー・マージン比率

	2016年度末	2017年度 第1四半期末
ソルベンシー・マージン比率	1,337.1%	1,188.1%

- ・ソルベンシー・マージン比率は、前年度末から149.0ポイント減少の1,188.1%となりましたが、引き続き高水準を維持しています。

### ◆格付け(2017年8月14日現在)

- ・格付投資情報センター(R&I) 保険金支払能力格付け : **A+**
- ・スタンダード&プアーズ(S&P) 保険財務力格付け : **A-**

### ■オリックス株式会社(コード番号:8591)の2017年度第1四半期連結決算(2017年4月～2017年6月)

<http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

オリックスグループの事業は、法人金融サービス・メンテナンスリース・不動産・事業投資・リテール・海外の6つの独立したセグメントで構成され、オリックス生命はリテール事業部門に位置しています。

## 4. トピックス

2017年 4月 30日 ・ 個人保険の保有契約件数が350万件を突破

2017年 6月 30日 ・ 「お客さま本位の業務運営方針」を制定

2017年 7月 21日 ・ 「ご家族登録サービス」の取り扱いを開始

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>  
プロフィットマネジメント本部 調査広報チーム  
狐塚・弘重・林 TEL : 03-6685-7996

<目 次>

1. 主要業績	.....	( 1 )
2. 資産運用の実績(一般勘定)	.....	( 3 )
3. 四半期貸借対照表	.....	( 6 )
4. 四半期損益計算書	.....	( 7 )
5. 経常利益等の明細(基礎利益)	.....	( 9 )
6. ソルベンシー・マージン比率	.....	( 10 )
7. 特別勘定の状況	.....	( 12 )
8. 保険会社及びその子会社等の状況	.....	( 12 )

# 1. 主要業績

## (1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：件、億円、%)

区 分	2016年度末		2017年度 第1四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度末比	前年度末比	
個 人 保 険	3,487,531	104,182	3,627,532	104.0	107,932	103.6
個人年金保険	156,597	7,962	149,757	95.6	7,505	94.2
団 体 保 険	—	5,429	—	—	5,571	102.6
団体年金保険	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。ただし、一時払個人年金保険の年金支払開始前契約については、基本保険金額を計上しています。

・新契約高

(単位：件、億円、%)

区 分	2016年度 第1四半期累計期間				2017年度 第1四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	前年 同期比	金 額			
		新契約	転換による 純増加	前年 同期比			新契約	転換による 純増加		
個 人 保 険	151,176	4,715	4,715	—	187,711	124.2	5,683	120.5	5,683	—
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 一時払個人年金保険の金額は新契約時の基本保険金額です。

## (2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2016年度末	2017年度 第1四半期 会計期間末	前年度末比
個 人 保 険	215,837	225,081	104.3
個 人 年 金 保 険	76,082	71,803	94.4
合 計	291,920	296,885	101.7
うち医療保障・ 生前給付保障等	133,503	138,175	103.5

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2016年度 第1四半期 累計期間	2017年度 第1四半期 累計期間	前年同期比
個 人 保 険	10,039	13,145	130.9
個 人 年 金 保 険	—	—	—
合 計	10,039	13,145	130.9
うち医療保障・ 生前給付保障等	6,299	7,135	113.3

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

## 2. 資産運用の実績(一般勘定)

### (1) 資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	2016年度末		2017年度 第1四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金・コ ー ル ロ ー ン	393,186	29.5	509,683	37.5
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	14,694	1.1	13,505	1.0
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—
有 価 証 券	668,769	50.2	577,507	42.5
公 社 債	413,791	31.0	380,516	28.0
株 式	118	0.0	118	0.0
外 国 証 券	241,100	18.1	185,274	13.6
公 社 債	241,100	18.1	185,274	13.6
株 式 等	—	—	—	—
そ の 他 の 証 券	13,758	1.0	11,598	0.9
貸 付 金	4,571	0.3	4,506	0.3
不 動 産	65,084	4.9	64,784	4.8
繰 延 税 金 資 産	5,924	0.4	6,094	0.4
そ の 他	181,119	13.6	183,920	13.5
貸 倒 引 当 金	△ 59	△0.0	△ 59	△0.0
合 計	1,333,290	100.0	1,359,943	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	252,427	18.9	192,358	14.1

(注) 不動産については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

## (2) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位: 百万円)

区 分	2016年度末					2017年度第1四半期会計期間末				
	帳簿価額	時価	差 損 益			帳簿価額	時価	差 損 益		
			差益	差損				差益	差損	
満期保有目的の債券	114,866	139,723	24,856	24,856	—	114,830	140,050	25,220	25,220	—
責任準備金対応債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	539,806	553,367	13,561	16,606	3,045	449,568	462,141	12,573	14,558	1,984
公 社 債	307,337	318,925	11,588	12,702	1,114	274,248	285,686	11,438	12,137	699
株 式	4	15	10	10	—	4	15	10	10	—
外 国 証 券	219,938	221,100	1,162	2,989	1,826	163,840	165,274	1,434	2,380	946
公 社 債	219,938	221,100	1,162	2,989	1,826	163,840	165,274	1,434	2,380	946
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	12,526	13,325	799	903	104	11,475	11,166	△ 309	29	339
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	654,672	693,090	38,418	41,463	3,045	564,398	602,192	37,794	39,778	1,984
公 社 債	402,203	436,826	34,622	35,736	1,114	369,078	403,836	34,758	35,457	699
株 式	4	15	10	10	—	4	15	10	10	—
外 国 証 券	239,938	242,923	2,985	4,811	1,826	183,840	187,174	3,334	4,280	946
公 社 債	239,938	242,923	2,985	4,811	1,826	183,840	187,174	3,334	4,280	946
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	12,526	13,325	799	903	104	11,475	11,166	△ 309	29	339
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。



・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	2016年度末	2017年度 第1四半期会計期間末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	97	97
その他有価証券	438	438
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	5	5
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	432	432
合 計	535	535

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

・運用目的の金銭の信託

該当ありません。

・満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託

該当ありません。

### 3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	2016年度末 要約貸借対照表 (2017年3月31日現在)	2017年度 第1四半期会計期間末 (2017年6月30日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
現金及び預貯金		409,494	526,452
買入金銭債権		14,694	13,505
有価証券		1,216,618	1,086,202
(うち国債)		(243,198)	(194,496)
(うち地方債)		(3,801)	(3,794)
(うち社債)		(166,791)	(182,225)
(うち株式)		(118)	(118)
(うち外国証券)		(243,753)	(187,797)
貸付金		4,571	4,506
保険約款貸付		4,571	4,506
有形固定資産		65,898	65,577
無形固定資産		10,931	12,199
代理店貸		58	58
再保険貸		122,794	118,555
その他の資産		48,686	54,625
繰延税金資産		5,924	6,094
支払承諾見返		2	1
貸倒引当金		△ 59	△ 59
資産の部合計		1,899,616	1,887,720
(負債の部)			
保険契約準備金		1,800,962	1,812,677
支払準備金		28,598	27,206
責任準備金		1,771,735	1,785,120
契約者配当準備金		628	350
代理店借		7,113	5,142
再保険借		1,203	1,084
その他の負債		22,598	9,001
未払法人税等		62	16
その他の負債		22,536	8,985
退職給付引当金		36	50
価格変動準備金		2,979	3,044
支払承諾		2	1
負債の部合計		1,834,896	1,831,002
(純資産の部)			
資本金		59,000	59,000
資本剰余金		45,204	45,204
資本準備金		45,204	45,204
利益剰余金		△ 49,248	△ 56,539
その他利益剰余金		△ 49,248	△ 56,539
繰越利益剰余金		△ 49,248	△ 56,539
株主資本合計		54,955	47,664
その他有価証券評価差額金		9,764	9,053
評価・換算差額等合計		9,764	9,053
純資産の部合計		64,719	56,717
負債及び純資産の部合計		1,899,616	1,887,720

#### 4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	2016年度 第1四半期累計期間 〔2016年4月1日から 2016年6月30日まで〕	2017年度 第1四半期累計期間 〔2017年4月1日から 2017年6月30日まで〕
		金額	金額
経常収益		108,099	108,774
保険料等収入		56,728	77,756
(うち保険料)		(55,837)	(76,568)
資産運用収益		7,366	28,656
(うち利息及び配当金等収入)		(4,098)	(3,757)
(うち有価証券売却益)		(3,268)	(3,186)
(うち特別勘定資産運用益)		(—)	(21,126)
その他経常収益		44,004	2,360
(うち責任準備金戻入額)		(41,056)	(—)
経常費用		113,516	118,527
保険金等支払金		63,528	79,176
(うち保険金)		(8,936)	(10,955)
(うち年金)		(16,721)	(29,207)
(うち給付金)		(8,078)	(8,986)
(うち解約返戻金)		(21,145)	(24,122)
(うちその他返戻金)		(523)	(478)
責任準備金等繰入額		—	13,385
責任準備金繰入額		—	13,385
資産運用費用		29,617	1,310
(うち支払利息)		(0)	(0)
(うち有価証券売却損)		(—)	(183)
(うち金融派生商品費用)		(114)	(571)
(うち特別勘定資産運用損)		(28,228)	(—)
事業費		18,311	22,192
その他経常費用		2,059	2,463
経常損失		5,416	9,752
特別利益		—	0
固定資産等処分益		—	0
特別損失		86	70
固定資産等処分損		1	5
価格変動準備金繰入額		85	65
契約者配当準備金繰入額		168	155
税引前四半期純損失		5,672	9,979
法人税及び住民税		△ 1,278	△ 2,794
法人税等調整額		△ 28	105
法人税等合計		△ 1,306	△ 2,688
四半期純損失		4,365	7,291

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2017年度第1四半期会計期間末

1. 四半期特有の会計処理

貸倒引当金の算定方法

貸倒引当金は、次のとおり計上しております。

破産、民事再生等、法的形式的な経営破綻の事実が発生している債務者に対する債権及び実質的に経営破綻に陥っている債務者に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。また、現状、経営破綻の状況にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。上記以外の債権については、前会計年度末の貸倒実績率を基礎として、合理的な範囲内で調整を加えた貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の貸借対照表価額は、793百万円であります。

3. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

イ. 当期首現在高	628百万円
ロ. 当第1四半期累計期間契約者配当金支払額	433百万円
ハ. 契約者配当準備金繰入額	155百万円
ニ. 当第1四半期会計期間末現在高	350百万円

4. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(四半期損益計算書関係)

2017年度第1四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純損失は、3,539円32銭であります。

2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 5. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位：百万円)

	2016年度 第1四半期 累計期間	2017年度 第1四半期 累計期間
基礎利益 A	△ 3,277	△ 9,424
キャピタル収益	3,736	3,777
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	3,268	3,186
金融派生商品収益	—	—
為替差益	—	585
その他キャピタル収益	467	5
キャピタル費用	759	754
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	—	183
有価証券評価損	—	—
金融派生商品費用	114	571
為替差損	645	—
その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益 B	2,976	3,023
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	△ 300	△ 6,401
臨時収益	229	—
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	229	—
個別貸倒引当金戻入額	—	—
その他臨時収益	—	—
臨時費用	5,346	3,351
再保険料	5,346	3,333
危険準備金繰入額	—	17
個別貸倒引当金繰入額	—	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	△ 5,116	△ 3,351
経常利益 A+B+C	△ 5,416	△ 9,752

- (注) 1. 2016年度第1四半期累計期間におけるその他キャピタル収益には、外貨建商品の負債の為替変動に係る評価部分の調整額467百万円が含まれています。  
 2. 2017年度第1四半期累計期間におけるその他キャピタル収益には、外貨建商品の負債の為替変動に係る評価部分の調整額5百万円が含まれています。

## 6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	2016年度末	2017年度 第1四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	169,474	154,165
資本金等	54,955	47,664
価格変動準備金	2,979	3,044
危険準備金	16,117	16,134
一般貸倒引当金	—	—
(その他有価証券評価差額金 (税効果控除前)・繰延ヘッジ損益 (税効果控除前)) × 90% (マイナスの場合100%)	12,205	11,316
土地の含み損益 × 85% (マイナスの場合100%)	9,163	9,163
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	118,916	126,441
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び 負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△ 44,863	△ 59,599
持込資本金等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	△ 1
リスクの合計額		
$\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$ (B)	25,349	25,950
保険リスク相当額 R1	6,492	6,731
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	4,894	5,099
予定利率リスク相当額 R2	1,570	1,554
最低保証リスク相当額 R7	—	—
資産運用リスク相当額 R3	19,965	20,396
経営管理リスク相当額 R4	987	1,013
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,337.1%	1,188.1%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条、第190条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

(参考)連結ソルベンシー・マージン比率

当社は、子会社であるオリックス保険コンサルティング株式会社との連結ソルベンシー・マージン比率を四半期ごとに作成し開示しています。

(単位：百万円)

項 目	2016年度末	2017年度 第1四半期 連結会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	168,824	153,529
資本金等	54,978	47,686
価格変動準備金	2,979	3,044
危険準備金	16,117	16,134
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	—	—
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	12,205	11,316
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	9,163	9,163
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△ 671	△ 657
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	118,916	126,441
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△ 44,863	△ 59,599
控除項目	—	—
その他	—	△ 1
リスクの合計額	25,323	25,924
$\sqrt{(\sqrt{R_1^2 + R_5^2 + R_8 + R_9})^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_6$ (B)		
保険リスク相当額 R1	6,492	6,731
一般保険リスク相当額 R5	—	—
巨大災害リスク相当額 R6	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	4,894	5,099
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R9	—	—
予定利率リスク相当額 R2	1,570	1,554
最低保証リスク相当額 R7	—	—
資産運用リスク相当額 R3	19,936	20,368
経営管理リスク相当額 R4	986	1,012
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,333.3%	1,184.4%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。

## 7. 特別勘定の状況

### (1) 特別勘定資産残高の状況

(単位:億円)

区 分	2016年度末		2017年度 第1四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額保険	—	11	—	10
個人変額年金保険	—	5,669	—	5,284
団体年金保険	—	—	—	—
特別勘定計	—	5,680	—	5,295

### (2) 保有契約高

#### ・個人変額保険

(単位:件、億円)

区 分	2016年度末		2017年度 第1四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
変額保険(有期型)	—	—	—	—
変額保険(終身型)	154	9	148	8
合 計	154	9	148	8

#### ・個人変額年金保険

(単位:件、億円)

区 分	2016年度末		2017年度 第1四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額年金保険	79,392	5,001	71,054	4,477

(注) 金額は、年金支払開始前契約の基本保険金額と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

## 8. 保険会社及びその子会社等の状況

当第1四半期においては、子会社等が当社と比べて小規模であり、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいことから、連結財務諸表を作成していません。